

手先が不器用な方への支援

～はさみ、カッター編～

極端に不器用、運動が苦手という場合、発達障がいのひとつである「発達性協調運動障がい(DCD = Developmental Coordination Disorder)」である可能性が知られるようになりました。DCDの頻度は6～10%と高く、注意欠如・多動性障がい(AD/HD)の約30～50%、限局性学習障がい(LD)の子どもの約50%に見られ、自閉症スペクトラム障がい(ASD)と併存することも多くあります。そして、この障がいは大人になっても、50～70%と高い頻度で残存するとされています。今回は、手先が不器用な方でも使いやすい工夫がされているはさみやカッターを紹介します。



カスタネットばさみ

価格：1,500円位

持ち手に指を通さなくても切ることができます。切る時にカチカチと音がしてカスタネットを叩くような楽しさがあります。刃がむき出しになっていないので安全です。カバーを付けたまま切ることができます。



ループタイプのはさみ

価格：2,000円位から

ループ部分を握ることで切ることができます。手指が動かしづらい、握力の弱い方も使うことができます。サイズが大、小あり、右利き、左利き用があるものもあります。



ばね付きばさみ

価格：500円位から

ばね付きで、刃を開くときに力がいらしません。刃先が丸くなっているなど、安全に使える工夫がされています。また、「ふつう」「ばね」「とまる」の3段階の切り替えが付いたタイプもあります。「とまる」にすると、刃が開かず安全です。



トレーニングばさみ

価格：500円位から

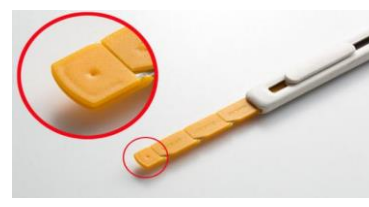
二人手用はさみとも言われているようです。一度に二人の手が入るので補助しながらはさみのトレーニングができます。はさみを動かす感覚をつかむことができます。



刃先が少ししか出ないカッター

価格：700円位から

刃先が数ミリしか出ないので安全です。微妙な力加減をしなくても、薄い紙を切ることができます。刃折り器がついていて、それがカッターのスタンドになるタイプもあり、安全に使うことができます。



工夫された道具を使うことで、「苦手な事にも取り組もう」という意欲をもてたり、「危ないから」と避けていたことにチャレンジできたりするかもしれませんね。
「自分でできた！」という喜びを味わうための支援具です。